

## ソリューションカンファレンス

### - システムコントロール -

星総合病院 続橋 順市

杜の都産業保健会 鎌倉 克行

今回で2回目となるソリューションカンファレンス・システムコントロールを開催した。前回は「診療放射線技師の管理業務」について考えるセッションだったが、今回は「診療放射線技師の働き方改革」として運営基盤の違う大学病院、民間総合病院、健診機関の3つの施設より発表を行った。

発表内容としてはそれぞれの施設より勤務形態（日勤・当直・待機・早出・遅出・残業・会議・機器管理・派遣・ローテーション体制など）、自己啓発活動（学会発表や参加・研修会参加・資料作成・勉強会参加など）をどのように運営されているのか、またそれらを業務として認められているのかなどを発表した。

一人目の演者は健診機関（クリニック）の杜の都産業保健会健診部長鎌倉克行氏の発表で、系列のクリニックを中心に発表した。健診クリニックは女性技師に人気があるが男性技師から敬遠される傾向にあるが、その理由のヒントになればと発表した。健診クリニックは施設がホテルのような作りで検査を受ける対象者も患者様ではなく受診者様である。病気で検査を受けるのではなく健康な方が検査を受けるので施設の清潔さや接客に力を入れている。医療業というよりサービス業に近い運営となっています。勤務形態は完全予約制で無病棟という事も有り、日勤のみで当直や待機などはありません。またローテーションなども不公平にならないように毎日モダリティごとにローテーションをしています（ただしマンモグラフィだけは女性技師のみでローテーション）。健診クリニックという

事も有り症例数は病院と比べて圧倒的に少ないので研修会参加は施設で手厚く補助しております。学会発表や参加やスライド作成、なども業務の一環として認められている。

二人目の演者は星総合病院放射線科技師長白石氏である。個人情報絡むスライドなので詳細には書けませんが、民間総合病院の技師長として経営的な観点から経費削減なども考えつつ職員の働きやすさも考慮しなければならない難しい管理をしている。職員の勤務や休暇などは独自のフォーマットを使用して管理しているが人員にも限りがあり苦労している。日勤・当直・残業のほかに系列の病院への派遣業務もあり、その管理範囲は幅広くなっております。

また地域最大の民間総合病院という事も有り、学会発表も積極的に行っているが業務優先という事も有り資料作成などは勤務以外の時間に作成することも多い。その中でも積極的に高レベルな研究や発表をしている。技師のスキルアップにも力を入れる必要がありベテラン技師、中堅技師、新人技師の役割をわけて指導や育成を行っている。

三人目の演者は東北大学病院技師長坂本氏である。講演限定と言う約束で個人情報の絡むスライドを公表してもらいましたので詳細は割愛いたしますが、参加者は大変有意義な情報を得ました。